

ハマホラシノブ

Sphenomeris biflora

ホングウシダ科

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 掲載なし

シダ植物



常緑のシダ植物でホラシノブの海浜型。伊豆以西の本州の太平洋側，四国南部，九州，沖縄の海岸近くに分布する。海岸崖下のやや暗い岸壁の割れ目に群生する。葉柄の長さは7～12cmで，葉身より短く，黄緑色から緑色，基部に褐色の鱗片をつける。県内では1980年に，「豊後水道域」の島で生育が初めて確認された。個体数がごく少なく海岸の埋立てや防波堤の工事などで，絶滅の危険性が極めて高い。

(写真・文：高岡芳憲)

県内分布 豊後水道域

分布域 本州(関東地方南部・伊豆半島・伊豆諸島・小笠原諸島・紀伊半島)，四国南部，九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)，沖縄
中国，台湾，フィリピン

国定公園指定植物 [日豊海岸]